

■ 主な子育て支援機関 ■

- 子育てや家庭に関する身近な相談窓口
- 子育ての悩み、心配、不安などについて
- こどもの虐待、不登校などについて

こども家庭センター (各福祉事務所内)



北区中央こども家庭センター	086-803-1824
北区北こども家庭センター	086-251-6521
中区こども家庭センター	086-901-1234
東区こども家庭センター	086-944-0131
南区西こども家庭センター	086-281-9652
南区南こども家庭センター	086-261-7127

- 妊産婦健康相談
- 子育ての不安や悩みに関する電話育児相談
- 児童精神科医による情緒・精神発達に関する乳幼児こころの相談
- 離乳食講習会、乳幼児健康診査、おやこクラブに関すること など

保健所・保健センター



健康づくり課	086-803-1264
北区中央保健センター	086-803-1265
北区北保健センター	086-251-6515
北区北保健センター御津・建部分室	086-722-1114
中区保健センター	086-274-5164
東区保健センター	086-943-3210
南区西保健センター	086-281-9625
南区南保健センター	086-261-7051

- 養育の問題 ■ こどもの虐待 ■ ことばの発達
- こどもに関する様々な相談、心身の障害、非行、性格行動、不登校 など

こども総合相談所（児童相談所）

☎ 086-803-2525



- 子どもと家庭の困りごとに関する相談

児童家庭支援センターどんぐり (児童養護施設若松園に附置)

☎ 086-237-7373 / 090-9417-7300



- 発達障害児者の生活や就労に関する相談
- 子どもの発達や子育てについての相談 など

発達障害者支援センターひかりんく

☎ 086-236-0051



- こころの悩み・精神症状への対応に関する相談
- 思春期のこころの健康相談 ■ 依存症相談など

こころの健康センター

☎ 086-803-1274 (相談電話)

9:00~12:00/13:00~16:00



- 不登校や集団への適応に関する相談
- ことばや発達障害等に関する相談 など

教育相談室

☎ 086-207-2170



- 乳幼児とその保護者が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場所を提供
- 拠点だよりの発行や育児講座の開催 など

地域子育て支援拠点

(市内の保育園・認定こども園の一部、児童館)



- 子育て相談 ■ 未就園児の保育活動
- 園庭や園舎の開放 など

のびのび親子広場

(岡山市内の市立幼稚園・認定こども園)



- 保護者と子どもの福祉に関わる様々な相談

民生委員・児童委員、愛育委員など

- 子どもの読書に関する情報提供・相談
- おはなし会・工作などの行事や調べ学習等の支援

図書館



- 子育てをしている保護者同士や異世代交流の場
- 読み聞かせ・工作など子育てに関する講座など
- 自然体験 ■ 学習支援、学習機会の提供など

公民館



家庭での 実践ポイント

子どもたちの 「やる気につながる好奇心」を 育むために…。



「やる気につながる好奇心」って？

ものごとに対する素朴な疑問や興味・関心など、子どもが学習に向かう原動力になるもの。

体験や人との関わりを通して育まれます。

子どもの好奇心を引き出し広げるために、家庭や地域でどんなことができるのでしょうか。

お問い合わせ

岡山市教育委員会事務局生涯学習課

☎ 086-803-1606

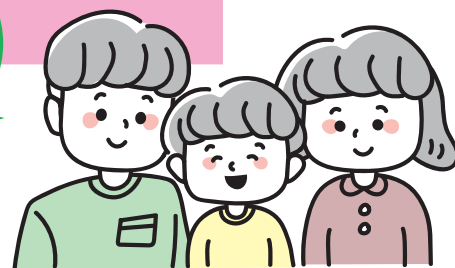
家庭教育支援事業
のホームページは
こちら



※このパンフレットは、岡山市社会教育委員会提言「家庭の教育力向上に向けての方策について」を基に作成されています。

令和7年12月 岡山市教育委員会・岡山市社会教育委員会議

子どもの好奇心を育むために、家庭や地域では
どんなことができるのでしょうか？



家庭で育みたい 「つながり」と「ぬくもり」

＼つながりを育む／

コミュニケーション力

- 人とのつながりの基礎となるものです。
- 自分の気持ちを相手がわかるように伝え、相手が何を伝えようとしているかを理解する力です。
- 家庭や地域の方、友だちなどとのふれあいの中で養われます。

＼ぬくもりを育む／

自己肯定感

- 自立心を育成する基本となるものです。
- 自分は大切な存在だ、自分はかけがえない存在だ、と思える感覚です。
- 失敗しても丸ごと受け入れられているという実感があるときに育まれます。

この2つを育むために次のことを心がけてみませんか。

1. あいさつをしましょう。

あいさつは人と人とのつながりの第一歩であり、人と人とのコミュニケーションの基礎となるものです。さわやかなあいさつはあたたかい心を育みます。

2. 家庭の中で役割をもたせましょう。

家庭の中でお手伝いをしてほめられると子どもはとても喜びます。もし子どもが失敗しても、保護者が励ましてあげることで、自分が丸ごと受け入れられていると感じ、「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえない存在だ」と思う気持ちが育まれます。年齢に応じた役割をもたせると、さらに自立心が育ちます。

3. 家族で地域行事や体験活動に参加しましょう。

親子でいっしょに自然や文化に触れたり、地域行事に参加したりしている人たちと関わったりする等の様々な体験は、子どもに多くの驚きや発見、感動を届けてくれます。好奇心は学びの原動力となります。

保護者の
皆さまへ

日々の子育ては幸せを感じることもあれば、悩むこともあります。次のチェック項目は、ふだんのくらしの中で、気がつかないうちについついやってしまっているかもしれない“子育てあるある”をあげています。心当たりがあるという項目に「✓」をつけてみてください。でも、「✓」が多かったからといって心配しなくても大丈夫です。「ピッ」とファウルの笛を吹かれたくらいに受け止めて、子どもの声に耳を傾けながら、子どもとのよりよい関係づくりのヒントにしてくださいね。

「やってはいけない」子育て 11のチェック項目

		✓
1	子どもが何かをする前またはやろうとしているときに、こちらから先走って声をかけてしまう。	...
2	子どもに頻繁に指示や確認をしすぎてしまい、その一つひとつがやたらと細かくなりすぎてしまう。	...
3	子どもが何かをやっている最中であっても、そのやっていることとはちがうことをいきなりたずねたり頼んだりしてしまう。	...
4	子どもに話すときに年上の大人としてついつい上から目線の言い方をしてしまう。	...
5	子どもに注意をするときに、以前のことを蒸し返したり「あなたはいつも〇〇な子なんだから」と注意したりしてしまう。	...
6	子どもがうまくできなかった理由を話していると、「でもね」などとすぐに逆接言葉を入れたり、その理由を「言い訳」と決めつけたりしてしまう。	...
7	子どもが自分の思う通りにならないと、イラッときてしまい、おさえが利かないほど感情的になりすぎてしまう。	...
8	子どもに言うことをきかせるために、ほかの子どもと比べながら「あなたはできていない」と言ってしまう。	...
9	子どもに言うことをきかせるために、「誰のおかげで生活できてると思ってるの!？」などと言ってしまう。	...
10	子どもとのやりとりのとき、以前言っていたことと今言っていることが明らかにちがっている。	...
11	子どもへ「あなたの好きにきなさい」と言っている割には、ぜんぜん好きにさせてあげられていない。	...

※「やってはいけない」子育て11のチェック項目

出典：中山芳一／「やってはいけない」子育て 非認知能力を育む6歳からの接し方（一部改訂） 発行所：日本能率協会マネジメントセンター

このチェックリストは、「子どもの権利宣言」や国の「こども基本法」の方針に基づいて、子どもをひとりの「人」としてかかわっていくために大切な項目をあげています。